

令和7年度

第1回 多文化共生の地域づくりコース

共催: (一財) 自治体国際化協会 (CLAIR)

この研修は、地域における多文化共生の課題を分野別に学び、自治体やその関係団体が施策を展開する際に、多文化共生に配慮できるよう理解を深めます。

また、外国人住民と共に、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に地域で暮らしていく多文化共生の地域づくりに必要な人材の養成を目的に実施します。

研修のねらい

- 多文化共生に関する基礎知識を習得し、地域における課題を分野別に理解する。
- 外国人住民の持つ多様な文化や価値観を理解する。
- 各部局において、多文化共生の地域づくりを意識しながら職務を遂行できる能力を身に付ける。

※修了者の方を「JAM多文化共生地域づくりサポーター」に認定します。

開催要領

日程

令和7年8月25日(月)～8月29日(金) (5日間)

場所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

- 市区町村・都道府県の職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員で、多文化共生に関心のある方(国際・多文化共生担当課以外の方も受講できます。)
- 多文化共生、福祉、教育等の分野で地方公共団体や地域国際化協会と協働実績があるNPOまたはNGOの職員の方で、地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けた方

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

40人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経費

12,650円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。

(一財)自治体国際化協会(CLAIR)からの助成(研修費6,500円)後の額です。CLAIRの助成対象外の方は、19,150円です。

なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年7月7日(月)まで

申込方法

JAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

※NPO、NGOの職員の方がお申込みいただく場合は、受講推薦書が必要になります。
受講推薦書はJAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和7年

8月
25日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 地域における多文化共生施策の更なる推進に向けて

総務省 自治行政局 国際室 室長 黒田 夏子 氏

14:25~17:00

講義 多文化共生施策の現状と課題

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

講義 地域における日本語教育の機会の充実に向けて

文部科学省 日本語教育課 日本語教育調査官 増田 麻美子 氏

10:50~14:10

講義 学校の教育支援～地域と学校の連携～

京都教育大学 教授 浜田 麻里 氏

14:25~15:35

事例紹介 市町村における多文化共生施策

静岡県磐田市 自治デザイン課 ダイバーシティ推進室 主事 市川 翔 氏

15:50~17:00

演習 演習導入

公益財団法人 箕面市国際交流協会 事務局次長 兼 総務課長 岩城 あすか 氏

9:25~10:35

事例紹介 災害時対応

公益財団法人 西宮市国際交流協会 企画調整チーム長 下村 成子 氏

10:50~12:00

事例紹介 在日外国人における高齢者の現状・課題

NPO法人エルファ 事務局長 南 均賢 氏

13:00~14:10

事例紹介 生活相談

愛知県犬山市 市民部 多様性社会推進課 多文化共生推進員 大島 ヴィルジニア・ユミ 氏

14:25~17:00

演習 講義ふりかえり・討議

公益財団法人 箕面市国際交流協会 事務局次長 兼 総務課長 岩城 あすか 氏

9:25~12:00

講義 医療・母子保健

聖路加国際大学 大学院看護学研究科 ウィメンズヘルス・助産学 教授 五十嵐 ゆかり 氏

13:00~17:00

演習 講義ふりかえり・討議・発表資料作成

公益財団法人 箕面市国際交流協会 事務局次長 兼 総務課長 岩城 あすか 氏

9:25~14:10

演習 発表・講評・全体ふりかえり

公益財団法人 箕面市国際交流協会 事務局次長 兼 総務課長 岩城 あすか 氏

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和7年

8月
26日(火)

令和7年

8月
27日(水)

令和7年

8月
28日(木)

令和7年

8月
29日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

研修ファシリテーターの紹介

(公財)箕面市国際交流協会 事務局次長 兼 総務課長 **岩城 あすか**(いわき あすか)氏

大阪外国語大学でトルコ語を学んだ後、トルコ共和国イスタンブール大学(院)に留学、1997年～2001年の4年以上をイスタンブールで過ごす。通訳やマスコミのコーディネーターをしながら、1999年におきた「トルコ北西部地震」の復興支援事業にもボランティアとして関わる。

現在は、(公財)箕面市国際交流協会が地域の国際化を促す様々な事業に取り組むほか、重度の身体障害者のみで構成される「態変」の発行する情報誌「イマージュ」の編集にも携わっている。2019年度より(一財)自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザー。

■ (一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

① 地方公共団体に属する職員 ……研修費 (6,500円) を助成

※ 地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっていますので、ご注意ください。

② ◆ 地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員

◆ 地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPOまたはNGOで、地方公共団体又は、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員 ……研修費 (6,500円) 及び往復交通費の全額を基準とした額を助成

※ 詳しくは (一財)自治体国際化協会 (CLAIR) 多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。

TEL: 03-5213-1725 FAX: 03-5213-1742

ホームページ: <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail: tabunka@clair.or.jp